

新技術・新製品特集号の発刊にあたって

代表取締役副社長 渡 辺 康 之

2010 年を振り返ってみると暗いニュースが多かったなかで、明るいニュースとして「はやぶさの帰還」と鈴木、根岸両先生のノーベル化学賞受賞が光り輝いていました。これらのニュースは科学技術の進歩が単に社会を豊かにするだけではなく、人々に夢と希望を与えてくれることを示してくれました。「はやぶさ」の快挙は多くの日本国民に感動と勇気を与え、IHI グループはこの成功に大きな貢献をすることができました。この計画の打上げからカプセル回収までを支えた IHI グループの高い技術力を誇りに思っています。



当社は「技術をもって社会の発展に貢献する」を経営理念としています。この理念が表しているように当社 157 年の歴史はその時代時代に世界をリードしてきた高い技術力によって築き上げられてきました。これまでに「はやぶさ」のような日本初とか世界初といわれる多くのものを世の中に送り出して、社会のニーズや人々の期待に答えてきました。その多くが時の常識を覆すような大きな変革といえるものであり、その後の船舶、プラント、製鉄、長大橋、パーキング・物流、圧縮機、エンジンなどの新たな標準となって、世界のものづくり技術をリードしてきました。私たちと同じように多くの先輩がその時代を代表する先進技術と製品を創り出したことに誇りをもってこられたものと思います。

IHI グループビジョンには目指す姿として、「21 世紀の環境、エネルギー、産業、社会基盤における諸問題を、ものづくり技術を中核とするエンジニアリング力によって解決し、地球と人類に豊かさ^と安全・安心を提供する企業グループ」になることを定めています。企業として存続していくためには社会のニーズに応えるだけでなく、市場において競争力のあるソリューションを提供し続けていく必要があります。今日、私たちを取り巻く環境はリーマンショック以来の景気の変動、急激な為替円高、新興国の台頭、環境問題への意識の高まりと対応強化の動きなどダイナミックに変化しています。そのため、社会のニーズや競争力を測る物差しも日々変化しており、IHI グループではスピードとフレキシビリティをもって技術開発を進めています。

本号は毎年各巻第 1 号に組んでいる新技術、新製品開発についての特集号です。今回は先端製品を支える基盤技術の強化、新しい生産・加工技術の開発、環境問題にソリューションを提供する、新しい製品の開発など IHI グループの最新の技術、製品開発の一端を紹介いたします。また、昨年改訂されたグループ技術戦略のベースにある「グループ全体の総合力を発揮した技術開発」の考えに沿って、関係会社の株式会社 IHI シバウラ (ISM)、株式会社 IHI 回転機械 (ICM)、株式会社アイ・エヌ・シー・エンジニアリング (INC)、株式会社アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド (IHIMU) の各社から新技術の紹介をしてもらいました。読者の皆さまが IHI グループの進めている新技術、新製品開発についてのご理解を深めていただく一助となることを願っています。そして本特集号の発行が、IHI グループ一丸^{まいしん}となって目指す姿に向けて邁進し、新たな感動の創出に向けて挑戦し続ける活力につながっていくことを期待するものです。